

## 神奈川大学デジタルアーカイブ

[所員] 後田多敦

[神奈川大学デジタルアーカイブワーキンググループ]

神奈川大学図書館 情報システム推進部 研究支援部 日本常民文化研究所

非文字資料研究センター 大学資料編纂室

## 神奈川大学デジタルアーカイブの運営と活用

後田多 敦 越智 信也

神奈川大学デジタルアーカイブは2021年4月から、新たなシステムにデータを移行して、リニューアル公開を開始した。しかし、まずはデータ移行を優先させたことから、機能を十分に引き出すには至っていない。メタデータ（目録データ）・コンテンツデータ（写真・画像等）の修正や追加あるいは検索ページを改良して、カテゴリー検索を利用できるようにするなど、取り組むべき作業はまだ残されている。実際にデータベース（以降DBと略）を運用している日本常民文化研究所、非文字資料研究センター、大学資料編纂室は、それぞれ公開している資料の性格や目的が異なるため、全学的視野から調整・整備を担える体制として、研究会・打合せを継続的に行う必要がある。

2021年度は7月に第1回の打合せを、所管部署の図書館および研究支援部、情報システム推進部と上記の3部署で行った。その中で、リニューアル後の評価すべき点として、システムの自由度が高いことから、今後の作業の習熟に応じて、それなりに工夫できること、クラウド化されたことでデータ保守が強化されたことがあげられた。一方、データ管理という面では旧システムに優位性があるとの指摘があった。また、今後全学的な研究資源の整備という観点からも、総合学術研究推進委員会を中心とする運営体制をいっそう整えること、ワーキンググループとしては常民研が中心になって進め、日本および世界のデジタル化の動きに注視しつつ、研修・研鑽を深めることが確認された。

11月の打合せでは、各部署のDBの整備状況について、順調に検索トップページや検索項目の変更、新たなデータの公開等が進んでいることが報告された。また、今後の運用として現在容量の

上限が200GBに設定されており、データ量の増加が見込まれることから、2022年度予算で容量の増設を行うこと、新たに非文字資料研究センターが「中国文化大革命関連資料ポスター」DBの公開準備を進めており、また、これまで独自のDBとして運用してきた「海外神社データ

表1 データベース登録数（2021年4月～2022年3月）

	データベース名	メタデータ登録数	コンテンツ登録数
1	常民研刊行物論文DB	1,462	662
2	民具マンスリー論文DB	2,709	0
3	常民研収集歴史資料DB	14,835	11,931
4	漁業・漁村筆写資料DB	804	0
5	『絵引』原画DB	1,174	1,989
6	常民研写真・映像資料DB	9,630	2,585
	登録件数（2021年度）	30,614	17,167

